



**** 《もくじ》 ****

- 1. 平成28年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術
● 移転加速化事業及び地域産学連携支援事業
- ☆NPO法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第2回セミナー (11月1日)
- ☆NPO法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第3回セミナー(12月13日)
- ☆アグリビジネス創出フェア2016 in 東海 (11月28～29日)
- 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
- ☆平成28年度野菜花き課題別研究会
- 「ウリ科野菜生産を取り巻く現状と今後の課題」 (10月25～26日)
- ☆平成28年度田原農業懇話会記念講演会 (10月22日)
- ☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会10月研究会 (10月27日)
- ☆農研機構 野菜花き研究部門安濃野菜研究拠点「一般公開」 (11月3日)
- ☆最新の農業技術を紹介する愛知県農業総合試験場公開デー (11月5日)
- ☆機能性表示食品セミナー・相談会 (11月10日)
- 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
- ☆アグリビジネス創出フェア2016(東京ビッグサイト) (12月14～16日)
- ☆農研機構 食品研究部門研究成果展示会2016 (11月2日)
- ☆平成28年度花き研究シンポジウム「国産花きのシェア奪還と輸出への展開」
● (10月24～25日)
- ☆農林水産省等のイベント情報のURL
- 4. 競争的研究資金について
- ☆「研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) ステージⅢ：
● NexTEP-A タイプ(平成28年度・第2回)」 (JST)
- ☆「平成28年度 戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)(追加公募)」
● (総務省)
- ☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム (総務省)
- ☆民間の競争的研究資金を30件掲載
- 5. 新技術情報
- ☆農林水産・食品分野の新技術の紹介(2件)



- ◆ 1 ◆ 平成28年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術
移転加速化事業及び地域産学連携支援事業

☆NPO法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第2回セミナー

農林水産・食品産業分野の先進的研究・利用事例、研究開発を取りまく情勢等について理解を深める。企業・団体、大学、試験研究機関等の産学官の参加者が情報交流し、東海地域における研究開発とその実用化促進に資する。

【開催日時】平成28年11月1日（火）13:30～17:00

【開催場所】ウインクあいち（愛知県産業労働センター）10階会議室（1006・1007）
名古屋市中村区名駅4丁目4-38（Tel:052-571-6131）

【アクセス】JR名古屋駅桜通口から
ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
地図：<http://www.winc-aichi.jp/access/>

【演題と講師】

第1会場（1006）

○林産部会 13:30～14:30

「セルロース・ナノファイバーの先進的マテリアル利用」

岐阜大学応用生物科学部准教授 寺本好邦氏

○水産部会 14:30～15:30

「アサリの天然採苗および垂下養殖技術の開発」

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 増養殖研究所

養殖システム研究センター研究員 長谷川夏樹氏

第2会場（1007）

○食品部会 13:30～14:30

「宝は足元に、農産物・食品ブランドはこうやって作ってちょう」

木戸弁理士事務所弁理士 木戸基文 氏

○畜産部会 14:30～15:30

「空気清浄（脱臭・除菌）機能を有する光触媒装置の開発と実用化」

地方独立行政法人 岩手県工業技術センター上席専門研究員 桑嶋孝幸氏

○作物部会 15:40～16:50

「世界の飢餓を救え！～WISHプロジェクトと最近の研究～」

名古屋大学生物機能開発利用研究センター教授 芦荻基行氏

【開催要領】http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai2kaisemi_kaisaiyouryou.pdf

【参加費】 無料

【参集範囲】NPO法人東海地域生物系先端技術研究会会員、農林水産・食品産業関連企業、農業団体、食品関係団体、大学・高校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、行政機関、その他

【主催】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会／農林水産省

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、農研機構 中央農業研究センター、
(公社) 農林水産・食品産業技術振興協会

【技術相談会】 15:50～16:50 (第1会場 1006)

相談対応：農林水産省産学連携支援コーディネーター

【情報交流会】 17:00～18:30 (第2会場 1007) 会費2,500円

【参加申込み】上記の開催要領のURLに添付した参加申込書を印刷し、ご記入の上、下記のFAX、あるいはメールの宛て先にご送付ください。

Tel&Fax: 052-789-4586 E-mail: bio-npo2@y4.dion.ne.jp

【関係情報】 NPO 法人東海地域生物的先端技術研究会ブログ

http://blog.livedoor.jp/biotech_tokai_blog/

☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 平成28年度第3回セミナー

「農産物・食品の輸出促進のための諸対策」

生物系先端技術に関する研究開発成果等の理解を深めるため、最新の先進的研究・利用事例、研究開発を取りまく情勢等についてセミナーを開催する。本セミナーのテーマは、「農産物・食品の輸出促進のための諸対策」とし、企業・団体、大学、試験研究機関等の産学官の参加者が情報交流することにより、東海地域における農林水産・食品産業分野の研究開発とその実用化、輸出促進に資する。

【開催日時】平成28年12月13日(火) 13:30～17:00

【開催場所】ウインクあいち(愛知県産業労働センター) 12階 1202会議室
名古屋市中村区名駅4丁目4-38 Tel: 052-571-6131

【演題・講師】

13:30～14:30

1) 「花き類輸出の現状と課題」

愛知県豊明花き流通協同組合代表理事 永田晶彦氏

14:30～15:30

2) 「最新のCAコンテナ輸送による鮮度保持技術と青果物輸出の取組み事例」

株式会社MTI 取締役・営業グループ長 田村健次氏

～休憩～

15:40～16:40

3) 「諸外国における残留農薬基準値と輸出用茶の生産対策」

農研機構 果樹茶業研究部門 茶病虫害ユニット長 佐藤安志氏

【開催要領】 http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28dai3kaisemi_kaisaiyouryou.pdf

【主催】 NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会／農林水産省

【後援】 農研機構 中央農業研究センター、(公社) 農林水産・食品産業技術振興協会

【参集範囲】 NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会会員、農林水産・食品産業関連企業、農業団体、食品関係団体、大学・高校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、行政機関、その他

【併催】技術相談（1202 会議室）：16:40～17:00 予約制

相談対応：農林水産省産学連携支援コーディネーター

【情報交流会】1206 会議室：17:00～18:30 参加費 2,500 円

【参加申込み】上記の開催要領のURLに添付した参加申込書を印刷し、ご記入の上、下記のFAX、あるいはメールの宛て先にご送付ください。

Tel&Fax：052-789-4586 E-mail：bio-npo2@y4.dion.ne.jp

☆「アグリビジネス創出フェア2016 in 東海」

—農林水産・食品産業分野における産学官連携によるマッチング促進—

「アグリビジネス創出フェア 2016 in 東海」は、農林水産省の実施する「知」の集積による産学連携推進事業のうち知的財産の技術移転加速化事業及び産学連携支援事業の一環として実施します。産学官・農商工の連携を一層効果的に推進するため、地域の活性化につながる研究開発から製品開発・事業化や技術移転、市場開拓など、新たなビジネス創出についての情報発信・技術交流を行います。更に事業化を進め、特許等の技術移転、ベンチャー企業の創出を支援する機会とします。本年度は名古屋大学協力会と共催し、講演会も開催します。

【開催日時】平成28年11月28日（月）10:00～17:00

11月29日（火）10:00～16:00

【開催場所】名古屋大学 ES総合館 ESホールおよび会議室

名古屋市千種区不老町名古屋大学

アクセス：地下鉄名城線 名古屋大学下車 2番出口より徒歩2分

【内容】

- (1) 開会式
- (2) 基調講演 「知の拠点あいち 食の安心・安全技術開発プロジェクトの成果」
豊橋技術科学大学大学院工学研究科 教授 田中三郎氏
- (3) 成果発表 研究・教育機関の研究成果、企業の研究成果
- (4) 名古屋大学協力会の講演会
- (5) 「知」の集積事業説明会
- (6) パネル等の展示（大学・各研究機関・高校・企業等研究成果、6次産業化新製品等）
- (7) 相談コーナー開設（農林水産省産学連携支援コーディネーター）

【主催】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会／農林水産省

【共催】名古屋大学協力会

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、（公社）農林水産・食品産業技術振興協会、農研機構 中央農業研究センター

【出展予定】研究機関・企業・団体等：60 ブース

【出展募集要領】http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shuttennyouryou_tokai.pdf

【出展申し込み】http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shutten_moushikomi-1.pdf

http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28agrifair_shutten_moushikomi-2.pdf

【参集範囲】大学、高等学校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研機関、農林水産・食品関係企業、農業団体、食品関係団体、県等行政機関。また、本フェアの展示・発表等にご関心のある方はどなたでもご参加ください。異分野のご専門の皆様も歓迎いたします。

【名古屋大学協力会の講演会（2日目）の内容】

- (1) 農業・食品産業における近赤外分光法の利活用
名古屋大学大学院生命農学研究科 土川 覚 氏
- (2) 未病バイオマーカーの研究開発と生活習慣改善を目的とした郵送検査事業
株式会社ヘルスケアシステムズ 瀧本陽介 氏
- (3) 微量血液中からのモノクローナル抗体迅速合成法
名古屋大学大学院生命農学研究科 中野秀雄 氏
- (4) 筋タンパク質を維持するための分岐鎖アミノ酸（BCAA）の機能
名古屋大学大学院生命農学研究科 下村吉治 氏

【情報交流会】1日目の17時から、名古屋大学構内にある「花の木」にて開催致します。
会費 4000 円（事前申し込み）

【問合せ先】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 事務局（大石、道村）
TEL & FAX：052-789-4586
E-mail：bio-npo2@y4.dion.ne.jp

◆ ◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆平成28年度野菜花き課題別研究会「ウリ科野菜生産を取り巻く現状と今後の課題」
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
野菜花き研究部門
一般社団法人日本種苗協会

【開催日時】平成28年10月25日（火）12：30～17：40
26日（水）9：00～15：30

【開催場所】アスト津（〒514-0009 三重県津市羽所町700）

【開催案内（参加申込書を含む）】<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2016/07/064077.html>

【内容】

1日目（10月25日）

1. ウリ科野菜品種紹介
2. 全体会議

○加工・業務用ウリ科野菜の現状と課題

農林水産省生産局農産部園芸作物課 宇井伸一氏

○ウリ科野菜の流通と消費の課題 東京青果(株)

野原秀司氏

○ウリ科苗生産の現状 ベルグアース(株)

山口一彦氏

○環境制御システムによるキュウリ生産技術の現状と展望

- 農研機構 果樹茶業研究部門
- 東出忠桐氏
- 大規模農業生産者（法人）の事例 群馬県中部農業事務所普及指導課 川島正俊氏
- ウリ科野菜のおいしさ・機能性について 農研機構 果樹茶業研究部門 堀江秀樹氏
- 総合討論

2日目（10月26日）

全体会議

- 果実汚斑細菌病の現状及び対策について 農研機構 本部企画調整部 白川 隆氏
- キュウリ産地における病害虫発生状況・気候変動の影響と対策について
埼玉県農業技術研究センター 塚澤和憲氏
- ウリ類退緑黄化病の発生状況と対策
熊本県農業技術課農業革新支援センター 杉浦直幸氏
- カボチャ産地における病害虫発生状況・気候変動の影響と対策について
北海道立総合研究機構上川農業試験場 新村昭憲氏
- スイカ育種の現状と課題 (株)萩原農場生産研究所 嶋本育泰氏
- カボチャ育種の現状と展望 農研機構 北海道農業研究センター 杉山慶太氏
- 黄化えそ病・退緑黄化病抵抗性育種研究の現状と展望
農研機構 野菜花き研究部門 杉山充啓氏
- ウリ科野菜における選抜マーカー開発の現状と展望
農研機構 野菜花き研究部門 川頭洋一氏
- 総合討論

【参集範囲】 国立研究開発法人および公立試験研究機関野菜研究担当者、日本種苗協会関係者、国および地方自治体の野菜行政・普及担当者、その他野菜花き研究部門長が認めた者

【参加申込】 9月26日までに下記申込先に E-mail 又はファックスにてお送りください。

E-mail: vf-koryu@affrc.go.jp Fax: 029-838-6673

農研機構 野菜花き研究部門 企画管理部 企画連携室 交流チーム

【問い合わせ先】 (国研) 農研機構 野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域

上級研究員 川頭洋一

TEL : 050-3533-4610 FAX : 059-268-1339

E-mail : ykawazu@affrc.go.jp

☆平成28年度田原農業懇話会記念講演会（田原農業懇話会20周年記念事業）

「日本農業大放談会」～田原市農業も考える

【開催日時】 平成28年10月22日(土) 14:00～

【開催場所】 華山会館 ホール

田原市田原町巴江1番地の1 TEL : 0531-22-1700

【内容】 1. 講演会

農林水産省東海農政局長 田辺義貴氏 他8名（予定）

(詳しくは、下記の開催案内をご覧ください)

- 2. 写真撮影
- 3. 祝賀会

【開催案内】 <http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28TaharaNogyoKonwakai.pdf>

【参加】 講演会の会費無料。

講演会終了後に同ホールにて祝賀会 (会員以外は会費 4,000 円)

【連絡先】 田原市役所農政課 TEL : 0531-23-3517

又は 西山直司様宛て FAX : 0531-27-0169

.....
☆中部異業種間リサイクルネットワーク協議会 10月研究会

【開催日時】 平成28年 10月27日(木) 午後2時から5時

【開催場所】 名古屋市市民活動推進センター 研修室

ナディアパーク・国際デザインセンタービル6階

(名古屋市中区栄三丁目18番1号 TEL : 052 - 228 - 8039)

【講演・講師】

14:00~15:30

「地域分散の資源循環を、超小型バイオガス装置で実現しよう」

元パナソニック九州 田川嘉隆氏

15:30~17:00

「成長による崩壊から持続のための縮小へ」

京都大学名誉教授 一般社団法人縮小社会研究会代表理事 松久 寛氏

【会費】 会員 無料、 会員以外 1,000円 (学生 500円)

【交流会】 講師を囲んでの交流会を予定 (自由参加)

会費 3,000円

新栄 うお浜 (会場へはタクシー乗り合わせ) 052 - 684 - 7710

【出欠連絡】 メールで、下記までご連絡下さい。

E-mail : gt-keisoku@re.commufa.jp 川崎 修様 宛て

(CRN事務局行き)

10月27日(木)のCRN [研究会例会]

研究会 : 出席 欠席 交流会 : 出席 欠席

所属 : 氏名 :

.....
☆農研機構 野菜花き研究部門 安濃野菜研究拠点の「一般公開」

【開催日時】 平成28年11月3日(木) 10:00から15:00まで

【開催場所】 安濃野菜研究拠点 (三重県津市安濃町草生360)

【開催案内】 <http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2016/09/071357.html>

【内容】 (1) 研究成果紹介、(2) ミニセミナー、(3) その他

☆最新の農業技術を紹介する愛知県農業総合試験場公開デー

【開催日時】平成28年11月5日(土)10:00から14:00

【開催場所】愛知県農業総合試験場(愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-1)

【開催案内】<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-keiei/koukai.html>

【内容】

- (1) 50周年記念講演会 研究成果紹介、(2) 50周年記念展示、(3) 研究成果の展示、
(4) 農業・園芸相談、鳥獣害相談、(5) 研究施設見学(事前予約優先)、(6) その他

☆機能性表示食品セミナー・相談会

【開催日時】平成28年11月10日(木)13:00~15:10

【開催場所】名古屋駅オフィスパーク名駅プレミアムホール 403 ABC

【主催】公益財団法人 食品流通構造改善促進機構

【開催案内】<http://www.ofsi.or.jp/rokujika/seminar/index.htm> (参加申込書が入っています)

【プログラム】

第1部 講演会

1. 制度の概要: 生鮮・加工度合いの低い食品に絞り解説します!

講師: グローバルニュートリショングループ 代表取締役 武田 猛氏

2. テクニック: 生鮮食品の機能性実証には近道があります!

講師: 健康栄養評価センター 代表取締役 柿野賢一氏

3. 実践: 生鮮品分野第1号認定に至るすべてをお話しします。

講師: 株式会社サラダコスモ 研究開発部 部長 中田光彦氏

【申込み】参加費無料、参加申込は11月4日まで、定員120名

【問合せ先】公益財団法人 食品流通構造改善促進機構 業務部(担当: 杉本・穴見)

TEL: 03-5809-2176

FAX: 03-5809-2183

◆3◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

☆アグリビジネス創出フェア2016(東京ビッグサイト)

「アグリビジネス創出フェア2016」は、全国の産学の機関が有する農林水産・食品分野などの最新の研究成果を展示やプレゼンテーションなどで紹介し、研究機関間や、研究機関と事業者との連携を促す場として開催する技術交流展示会です。

【開催期間】平成28年12月14日(水)~12月16日(金)

3日間とも午前10時開場、午後5時閉場

【会場】東京ビッグサイト 西4ホール (東京都江東区有明3-11-1)

【アグリビジネス創出フェア2016 ホームページ】<http://agribiz-fair.jp/teaser/>

【入場料】 無料

【主催】 農林水産省

【出展者募集】 出展料無料（但し、小間装飾に必要な経費（出展者名ボード作成費、電気
使用量等の実費は負担）

出展のご案内 <http://agribiz-fair.jp/teaser/pdf/guidelines.pdf>

【プレゼンテーション企画への参加】 出展申込みの際にご記入下さい。

☆農研機構 食品研究部門研究成果展示会 2016

【開催日時】 平成28年11月2日(水) 9:30～16:00

【開催場所】 つくば国際会議場(つくば市竹園 2-20-3)

【開催要領】 <http://www.naro.affrc.go.jp/nfri-neo/seikatenji/index.html>

【内容】

・成果展示会

食品研究部門のポスター展示 多目的ホール（約100枚のポスター展示）

・第34回公開講演会 食品研究部門の成果について 中ホール200
2題を予定

【主な来場者】 国の機関関係者、食品産業関係者、独立行政法人関係者、地方公共団体等
試験研究機関関係者、製薬業界関係者、化粧品業界関係者、環境系団体関
係者など、約500名

【参加】 参加費無料、参加登録不要

☆平成28年度花き研究シンポジウム「国産花きのシェア奪還と輸出への展開」

【開催日時】 平成28年10月24日(月) 13:00～25日(火) 12:00

【開催場所】 つくば国際会議場「エポカルつくば」3F 中ホール300
〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3

【開催案内】 <http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2016/09/070934.html>（参加申込書を含む）

【主催】 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 野菜花き研究部門

【プログラム】

1日目(10月24日)

開会挨拶

1. 基調講演 国産花きのシェア奪還に何が必要か 磯村信夫氏(大田花き)

2. 切り花輸入の現状と国産花きの課題

- ・切り花輸入の現状と課題 西尾義彦氏 (クラシック)
- ・専門店の視点からの国産花きの課題 山崎年起氏 (ヌボー生花店)
- ・量販店の視点からの国産花きの課題 松本智広氏 (メルシーフラワー)
- ・総合討議

情報交換会(ホテルグランド東雲)

2日目(10月25日)

3. 主要品目におけるシェア奪還

- ・キクにおけるシェア奪還方策 住友克彦氏 (農研機構)
- ・カーネーションにおけるシェア奪還 真鍋佳亮氏 (香花園)

4. 切り花輸出の現状と展開

- ・切り花輸出の現状と課題 樋口博紀氏 (東日本板橋花き)
- ・リンドウにおける輸出振興方策 日影孝志氏 (八幡平市花き研究開発センター)
- ・総合討議

閉会挨拶

【参加申込】参加希望者は10月17日(月)までに「参加申込書」にご記入のうえ下記申込先へE-mail またはFaxでお送り下さい。但し、定員(250席)に達した時点で締切となります。シンポジウムへの参加は無料ですが、情報交換会は会費制(一人5,000円)となりますので、当日受付にて会費をお支払い下さい。

【申込み先】(国研)農研機構 野菜花き研究部門 企画管理部企画連携室

E-mail : vf-koryu-f2016@ml.affrc.go.jp Fax:029-838-6841

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆4◆ 平成28年度競争的研究資金等について

☆「研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) ステージ3 :

NexTEP-A タイプ(平成28年度・第2回)」 (JST)

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等 : 企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間 : 平成28年7月29日~11月30日

☆「平成28年度 戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)(追加公募)」 (総務省)

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000178.html

分野等 : 若手ICT研究者等育成型研究開発

公募期間：平成28年9月12日～10月21日

.....
☆ ICT イノベーション創出チャレンジプログラム (I-Challenge!) (総務省)

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1) いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2) G空間高度利活用基盤技術 (Tokyo 3D Mapping)
- (3) 以心伝心ICTサービス基盤
- (4) フレンドリーICTサービス技術
- (5) 社会インフラ維持管理サービス技術
- (6) レジリエント向上ICTサービス技術
- (7) 車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合をはかるなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC (Proof of Concept：概念検証) に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成28年4月21日～(28年度中はいつでも応募可能)

.....
民間等研究資金

☆公益財団法人日本科学協会：「平成29年度笹川科学研究助成(学術研究部門)」

<http://www.jss.or.jp/ikusei/sasakawa/>

分野等：一般科学研究、海洋・船舶科学研究

公募期間：平成28年10月1日～14日

.....
☆公益財団法人双葉電子記念財団：「平成29年度自然科学研究助成金」

http://futaba-zaidan.org/guide/research_guide.html

分野等：1. 先端医工・バイオ、2. 環境・エネルギー、3. 先端材料・加工技術、
4. 情報通信・ロボット、5. その他

公募期間：平成28年9月1日～10月18日

.....
☆公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団：「平成28年度学術研究助成」

<http://www.ijima-kinenzaidan.or.jp/collection/collection.html>

分野等：米麦その他の主要食糧等を原料とする食品に関して次の1～3に掲げる分野に係る食品科学等の研究。

1. 生産・加工・流通に関する基礎的研究

2. 製造技術及び品質保持技術の開発に関する研究

3. 安全・衛生、栄養・機能等に関する研究

公募期間：平成28年9月1日～10月20日

☆公益財団法人新技術開発財団：「第98回（平成28年度第2次）新技術開発助成」

http://www.sgkz.or.jp/download/newtech/download.html?sscl=ZD_top_now_newtech

分野等：基本原理の確認が終了(研究段階終了)した後の実用化を目的にした開発試作

公募期間：平成28年10月1日～10月20日

☆公益財団法人食生活研究会：「平成29年度研究助成」

<http://www.z-ssk.org/about/guideline.html>

分野等：

1. 自然科学系：穀物科学、食品加工、食品安全、食品機能、栄養学、その他の生命科学等に関する研究

2. 人文科学系：食料・農業政策、法制度、市場動向・消費動向、消費者とのコミュニケーション等に関する研究

公募締切日：平成28年10月31日

☆うま味研究会：「うま味研究助成第23回募集」

<http://www.srut.org/index2.asp>

分野等：下記2つの条件を備えた研究

1. 研究テーマが「うま味」「食」「おいしさ」に関するもの。

2. 研究の視点、方法が独創的なものであり、その成果が「うま味の本質」、「おいしさにおけるうま味の役割」という課題に対し新しい科学的知見を加え、食に関する学際的研究の発展に貢献することが期待できるもの。

公募締切日：平成28年10月31日

☆公益財団法人八洲環境技術振興財団：「研究開発・調査助成」

http://www.yashimadenki.co.jp/zaidan/enterprise_application.php

分野等：

1. 再生可能エネルギー源等に関連する技術開発

2. クリーン燃料

3. エネルギーの転換、輸送、貯蔵、利用の高効率化、合理化およびそれらのシステム

4. エネルギー材料、デバイス

5. 環境保全、地球温暖化防止、エネルギー利用上の技術

6. 環境技術マネジメントの基礎研究

公募期間：平成28年8月1日～10月31日

☆公益財団法人本庄国際奨学財団：「2017年度 食と健康プログラム研究助成金」

<http://hisf.or.jp/researcher/index.html>

分野等：

1. 人の健康維持に対する、さまざまな食品および食品成分の有効性を明らかにするための、ヒトを対象とした研究（疫学研究、介入研究など）。
2. 食品成分の新しい機能性および作用機序を明らかにしようとする研究。

公募期間：平成28年9月1日～10月31日

.....
☆公益財団法人園芸振興松島財団：「平成28年度第43回研究助成」

<http://www.matsushima-foundation.or.jp/josei/index.html>

分野等：青果物（花きを除く）の生産、流通および消費に関する研究

公募締切日：平成28年10月31日

.....
☆公益財団法人野田産業科学研究所：「野田産研研究助成（2017年度）」

<http://www.nisr.or.jp/jyosei/SANKENjoseiyoukou.htm>

分野等：主として発酵化学を基盤とする産業に寄与することを目的とする応用生命科学研究。

公募期間：平成28年10月1日～31日

.....
☆一般財団法人国土技術研究センター：「平成28年度（第18回）研究開発助成」

<http://www.jice.or.jp/review/assistances>

分野等：

1. 安全に安心して暮らせる国土の実現に寄与するもの（地誌等に残る地域特有の自然災害の伝承や記録、国土強靱化への多様な手法、総合化へのシステム展開など、防災、減災を向上するための研究を含む）。
2. 人・もの・情報が効率的に通いあえる国土の実現に寄与するもの。
3. 心豊かに暮らせる快適で美しい国土の実現に寄与するもの。

公募期間：平成28年8月1日～10月31日

.....
☆公益財団法人野口研究所：「野口遵研究助成金（2016年度）」

<http://www.noguchi.or.jp/subsidy.php?00001>

分野等：

1. ライフサイエンスの進展に資する物質やデバイスに関する研究
2. エネルギー・資源・環境の革新に寄与する新プロセスや新材料に関する研究
3. 豊かな生活に寄与する新材料やデバイスに関する研究

公募期間：平成28年9月1日～10月31日

.....
☆公益財団法人三菱UFJ技術育成財団：「平成28年度第2回研究開発助成金」

<http://www.mutech.or.jp/whatsnew/index.html>

分野等：技術水準から見て新規性のある機械、システム、製品等の開発で、原則として2年以内に事業化が可能なもの。

公募期間：平成28年9月1日～10月31日

☆公益財団法人農芸化学研究奨励会：「第44回研究奨励金」

http://www.jsbba.or.jp/acrf/frame_bosyu_syorei.html

分野等：農芸化学諸分野における意欲的な研究。

公募期間：平成28年9月6日～10月31日

☆公益財団法人近藤記念財団：「平成28年度（第3回）『炭素材料』に関する研究助成」

<http://kondo-zaidan.or.jp/research/index.html>

分野等：「炭素材料」に関する基礎研究及び応用研究

公募期間：平成28年9月1日～10月31日

☆一般財団法人内藤泰春科学技術振興財団：「調査・研究開発助成」

<http://www.naito-zaidan.or.jp/boshu/Jyosei/Kenkyu/kenkyuouboyokou.html>

分野等：独創的な科学技術の研究開発で、地域の産業又は中小規模の企業の発展に寄与しうるもの。

公募期間：平成28年8月1日～11月1日

☆公益財団法人鹿島学術振興財団：「2016年度研究助成」

<http://www.kajima-f.or.jp/promotion/paper.html>

分野等：

1. 都市・居住環境の整備
2. 国土・資源の有効利用
3. 文化的遺産・自然環境の保全

公募期間：平成28年7月1日～11月10日

☆三井物産環境基金：「2016年度研究助成」

http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/environment/fund/application/1220388_7661.html

分野等：地球環境問題の解決と持続可能な社会構築に貢献する研究で、下記対象分野に関わるもの。

<対象分野>

1. 地球環境
2. 資源循環
3. 生態系・共生社会
4. 人間と社会のつながり

公募期間：平成28年9月20日～11月12日

☆公益財団法人長瀬科学技術振興財団：「平成29年度研究助成」

<http://www.nagase-f.or.jp/grant-2/>

分野等：有機化学及び生化学、並びに関連分野における研究

公募期間：平成28年9月11日～11月14日

.....
☆資生堂：「第10回資生堂女性研究者サイエンスグラント」

<http://www.shiseidogroup.jp/rd/doctor/grants/science/index.html>

分野等：自然科学分野（理工科学分野、生命科学分野）。界面・コロイド化学の応募を積極的に歓迎する。

公募締切日：平成28年11月15日

.....
☆・天野エンザイム（株）：「第18回酵素応用シンポジウム研究奨励賞」

<http://www.amano-enzyme.co.jp/jp/company/kouso.html>

分野等：産業界に影響を与える可能性の高い「酵素の応用研究」、産業界での応用の可能性のある「基礎的な酵素研究」を行っている研究者

公募期間：平成28年10月3日～11月30日

.....
☆公益財団法人不二たん白質研究振興財団：「平成29年度研究助成（一般研究）」

<http://www.fujifoundation.or.jp/aid/assist01.html>

分野等：研究領域は、大豆たん白質および大豆関連成分に関する研究を対象とする。研究分野は、以下の4分野とするが、各分野に跨る応募も歓迎する。

1. 遺伝・育種・成分・品質などに関する研究
2. 調理・風味・加工・物性などに関する研究
3. 栄養・健康、疾病予防・治療などに関する研究
4. 食文化、食行動などに関する研究

公募期間：平成28年10月1日～11月30日

.....
☆公益財団法人不二たん白質研究振興財団：「平成29年度研究助成（特定研究）」

<http://www.fujifoundation.or.jp/aid/assist02.html>

分野等：人における健康の維持や病気の予防等に期待される大豆たん白質および関連成分の基礎、応用あるいは生活への活用に関する領域の研究

公募期間：平成28年10月1日～11月30日

.....
☆公益財団法人不二たん白質研究振興財団：「平成29年度研究助成（若手研究者枠）」

<http://www.fujifoundation.or.jp/aid/assist03.html>

分野等：研究領域は、大豆たん白質および大豆関連成分に関する研究を対象とする。研究分野は、以下の4分野とするが、各分野に跨る応募も歓迎する。

1. 遺伝・育種・成分・品質などに関する研究
2. 調理・風味・加工・物性などに関する研究
3. 栄養・健康、疾病予防・治療などに関する研究
4. 食文化、食行動などに関する研究

公募期間：平成28年10月1日～11月30日

.....

☆公益財団法人国際科学技術財団：「2017年研究助成」

http://www.japanprize.jp/subsidy_yoko.html

分野等：

- (1) 2017年（第33回）日本国際賞授賞対象分野
「エレクトロニクス、情報、通信」分野、「生命科学」分野
- (2) 「クリーン&サステイナブルエネルギー」分野

公募期間：平成28年9月1日～11月30日

.....

☆公益財団法人池谷科学技術振興財団：「平成29年度助成金」

https://iketani-zaidan.or.jp/system/?page_id=05

分野等：先端材料及びこれに関連する科学技術

公募期間：平成28年10月1日～11月30日

.....

☆公益財団法人昭和聖徳記念財団：「第26回（平成28年度）学術研究助成（奨励）」

http://www.f-showa.or.jp/2_jigyo/2_biology.html

分野等：系統分類に関する研究

公募締切日：平成28年12月10日

.....

☆粉体工学情報センター：「2017年度（第13回）研究助成」

<http://www.icpt.jp/kenkyuu/index.html>

分野等：1. 食品粉体に関わる研究、2. 粉体単位操作に関わる基礎研究

公募期間：平成28年10月3日～12月26日

.....

☆公益財団法人山田科学振興財団：2017年度研究援助」

http://www.yamadazaidan.jp/jigyo/bosyu_kenkyu.html

分野等：自然科学の基礎的研究

公募締切日：平成29年2月24日

.....

☆一般財団法人杉山報公会：「平成29年度研究助成金」

<http://www.sugiyama-houkougai.or.jp/joseib.html>

分野等：主として「健康な暮らしを支える産業に寄与することを目的とする研究」とし、
医薬、食品、健康、環境、衛生等の分野に結びつく研究領域とする。

公募期間：平成28年9月1日～29年3月31日

◆ 5 ◆ 新技術情報

☆農林水産・食品分野の新技術情報の紹介

- ・施設園芸（トマト）関係：あいち型植物工場

愛知県農業総合試験場では、既存の中規模温室やハウスをそのまま活用し、光・温度・二酸化炭素（CO2）などの高度な環境制御機能を追加することで飛躍的な生産量向上をめざす経営（あいち型植物工場）を確立するための技術開発を行いました。これらの技術により、30～50aの中規模経営農家が、最適な投資で従来の倍となる年間収量40t/10aを実現できることを実証しました。

(1) 2015年 愛知県農業総合試験場の10大成果：

http://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heyatokubetsu/pdf/8aiti_shokubutukoujyo.pdf

(2) あいち型植物工場マニュアル（トマト編）；農総試 HP「研究の成果（技術情報）」

<http://www.pref.aichi.jp/nososi/seika/gijutu/johou/siryou/shokubutsukoujoumanual-tomato.pdf>

・食品関係：「べにふうき」緑茶を利用した新たな機能性表示食品

農研機構 食品総合研究所は、「べにふうき」緑茶が、これまでアレルギー性鼻炎症状の軽減作用を有する成分メチル化カテキンを含有することや、その作用メカニズムを明らかにし、食品・ヘルスケア商品の開発を企業と行ってきましたが、その機能性を表示することが困難でした。そこで、2015年4月から始まった機能性表示制度への「べにふうき」の機能性の表示に向けて、科学的根拠の取得や最適抽出法の確立を行いました。

農研機構 食品総合研究所の2015年成果情報：

「べにふうき」緑茶を利用した新たな機能性表示食品

http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/nfri/2015/15_075.html

.....
編集後記

今年は大型台風の発生が多く、これも地球温暖化の影響で海水温が高くなったためと思われます。一方、地球温暖化防止のためのCOP21で合意されたパリ協定が、批准国が55ヶ国以上、その炭酸ガス排出量に占める割合が全体の55%以上の基準を越えたので、来月11月4日に発効することになりました。日本は批准が遅れ、当初の枠組を決める重要な会議に参加出来ないとのこと。いずれにせよ、最大の炭酸ガス排出国である中国や、米国、インド他、京都議定書に参加していなかった多くの発展途上国も参加し、全地球的レベルで地球温暖化対策が実施できるようになり、歴史的な一歩となります。今後の地球温暖化対策の着実な実施と、温暖化防止対策と被害回避対策のための技術開発もますます重要となってきます。既にシベリアの永久凍土の解凍による大量のメタンの放出が起きており、今後、海水温の一層の上昇により海底のメタンハイドレートの気化が始まれば、温暖化は不可逆的となり急速に進むことが考えられますので、これからが地球温暖化防止の正念場となります。

ところで、最近読んだ本に、村上由美子著「武器としての人口減社会」光文社新書（2016年8月出版）があります。著者は、ゴールドマン・サックス証券など外国企業で長年働き、現在はOECD（経済開発協力機構；本部がパリに在る国際機関）の東京事務所長を務めて

います。国際的視野から見た日本経済について、OECD の豊富な統計調査資料を駆使して分析しています。特に、外国企業では女性の能力活用の仕方がその企業の将来を左右するという認識の基に人材登用と育成、労働環境の整備などが図られているようです。日本の少子高齢化は労働力不足をきたす一方、省力化、ロボット化などを推進する環境がある(他方、外国では労働力が余り、そのような環境が生まれにくい)ことなど、極めて前向きに捉えています。また、熾烈な国際競争の中で、イノベーションを起こして企業を発展させていくためには、時代と合わない古い慣行などを変えていく重要性なども考えさせられるところです。大局的、俯瞰的、国際的感覚で日本を改めて見てみるのに良い本であると思われます。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX : 0 5 2 - 7 8 9 - 4 5 8 6

E-mail : bio-tech.co*go8.enjoy.ne.jp *を@に書き換えてください

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>